

浜崎地域まちづくり会議ニュース 第2号

「将来も持続可能な浜崎地域のまちづくりを考えよう」～実践活動へ向けての取組～

平成26年10月22日(水) 会場：須崎漁民会館

まちづくり会議の概要

10月22日、須崎漁民会館にて、「第2回浜崎地域まちづくり会議」を開催しました。

浜崎地域（外浦、須崎、柿崎）で活動や居住されている20名のまちづくり会議委員によって、今回は、重要な3つの問題・課題について、実現のための具体策を検討しました。



グループA

グループB



グループごとの成果（Aグループ）

1 住民も訪問者も安全な避難対策

<p>方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい</p>
<p>既にこれまで対策については十分検討してきた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家が考えているので、この会で議論する必要はない
<p>近くに山があるので避難路をつくる (そこへ避難する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜崎地区は、海岸に観光客が大勢いる（特に夏）ので、避難の連絡や誘導が難しい地区だ。 ・ 緊急時は携帯電話での連絡が出来ない ・ 市と各部落と連絡できる無線通信の連絡網をつくる。 早く観光客に逃げるように知らせる
<p>避難路を造ることが必要 (須崎地区はできている)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区でより具体的に考える ・ 観光客にもわかりやすい避難路や案内とする

2 海の魅力を活かすまち 3 特色ある自然を巡るまち

<p>方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい</p>
<p>四季の花咲く須崎半島をキャッチフレーズに地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸と遊歩道沿いに四季折々の花を植える ・ サザンカの花を植える（200本で200万円） ・ 冬に咲く水仙があるのは四季の花の里づくりに優位
<p>3地区(外浦、須崎、柿崎)ごとの特色を生かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演出をして盛り上げる人材がいない 人材育成が必要 ・ お客さんは駐車場があり、10～15分で見ることができる場所であれば来ない ・ 歩くだけでなく、店や祭り（イベント）などを行い、テレビで話題になるなどの何か魅力が欲しい
<p>観光には、『見る』だけでなく、『食べる』と『買う』場所が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しかし、地元で採れた新鮮な魚介類が食べられない。 (他都市の海岸では「浜焼き」を看板に提供している)
<p>外浦地区に整備をすればとても景観の良い場所がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しかし、国立公園内であって許可されない ・ 近くの海岸で、小学生が地形等を学ぶ学習会を行っている 海岸からの避難路、避難地として整備する ・ 伊豆半島がジオパークに認定されたら、ジオサイトを見る 景観広場として整備する（環境省へ提案）

グループごとの成果（Bグループ）

具体的には

	方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい	取り組む主体			実施時期		
		行政	住民	企業	短期	中期	長期
1 地場 産品 の 活用	海岸に打ち寄せるカジメ（海藻）の商品開発 + 新たな商品開発						
	九年母（ミカン科）栽培数を増やす + 和菓子店と連携・商品化						
	既存産品の活用（天草等）						
	取れたての伊勢海老が購入できる場所						
	・蓄養場【漁協に水揚げされたアワビ・サザエ・イセエビなどを活かしておく施設】のPR）						
	地元産品の販売場所						
	・四季を通じて地場産品を売る						
	各種組織で講習会（老人会、女性の会、学校）						
	・海産物の料理教室（山・畑の作物づくり 給食、イベントで）						
耕作放棄地を活用する（市民農園、子供会、観光農園）							
2 ジオ サイ トを めく るコ ース の検 討	ジオサイトの区民への理解						
	・A3版手作り、パンフレット、立札						
	ジオサイト同一看板作成（外国語含む）						
	ジオサイト近くへ植樹						
	・乙女桜、水仙、ビャク杉						
	ジオサイトを海から見れるように漁船を出す						
	遊漁船を利用する釣り客の家族が遊べるコースを作る						
	・磯遊びや農業体験						
ジオサイト周辺で地場産品を販売する							
海中のジオサイトを探してPRする							
3 避難 路と 備蓄 の充 実	農道も兼ねた道路整備（畑の利用、ハイキング、昔金山）						
	避難路整備						
	・須崎 柿崎、須崎 外浦						
	・区と市の防災との連携						

記入例：誰が主体 / 主な主体に 2 以上の場合はメインに

いつごろまでに / 短期：3 年以内 中期：5 年以内 長期：10 年以上 20 年未満

第 3 回は、災害後のまちづくりをテーマに行います。

今後の浜崎地域まちづくり会議の予定

第 3 回 平成 26 年 11 月 26 日（水）

「災害後の復興まちづくりを考える」

会場：須崎漁民会館

時間：19:00～21:00

見学が可能です。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせはこちらまで

下田市役所 建設課

都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007